

取得可能な学位・卒業要件

博士前期課程

修業年限および修了に必要な修得単位数、取得可能な学位

修業年数：2年 / 取得可能な学位 修士（学術）

履修方法

1. 学生は2年以上在学し、次に定める方法により、30単位以上を修得しなければなりません。
2. 授業科目の中から1専修コース、1特論2単位、1特別研究12単位を選定し、これを学生の専修科目とします。「総合学術特論Ⅰ」、「総合学術特論Ⅱ」ならびに選定した専修コース以外の他の3つの専修コースの基幹授業科目の中から、それぞれ「1特論2単位合計6単位以上」、併せてそれ以外の基幹授業科目と関連授業科目の中から「6単位以上」を選択履修します（所定の手続を経て修得した他研究科開講科目の単位は、「6単位」のうち「4単位」まで認められます）。
3. 専修科目を担当する教員を当該学生の指導教員とし、学生は、授業科目の選定、学位論文の作成その他研究全般について、その指導を受けるものとします。
4. 修士（博士前期課程）の学位論文は、専修科目について提出するものとします。

学習成果にかかわる評価

	点数	評価
合格	100点～80点	A
	79点～70点	B
	69点～60点	C
不合格	59点以下	F
認定		N

博士後期課程

修業年限および修了に必要な修得単位数、取得可能な学位

修業年数：3年 / 取得可能な学位 博士（学術）

履修方法

1. 学生は3年以上在学し、次に定める方法により、履修しなければなりません。
2. 研究指導科目の中から1科目を選定し、これを学生の専修科目とします。
3. 専修科目の研究指導を担当する教員を当該学生の指導教員とし、学生は学位論文の作成、その他研究一般について、その指導を受けるものとします。
4. 博士の学位論文は、専修科目について提出するものとします。